

□令和7年度スローガン
笑顔あふれる
「み」みつけよう夢を
「た」高めよう志へ／助け合おう友と
「ち」知恵と
「や」やる気と
「ま」真心で

【ひとり言】

つい先日、
【ALL長崎Tシャツ】を、
購入しました。
これは、J1への昇格争いが
最終盤を迎えていた
Vファーレン長崎を、
県が一体となって応援しようという、
その象徴みたいなグッズであり、
サポーターは勿論、
県内各地の役場や企業などでも
着用されていますよね。
もちろん興味が無い方も
多数いらっしゃることは
理解した上ですが…、
本拠地のピーススタジアムを中心に
県内各地で人々が集まり、
会場を青に染め
一緒に大声を張り上げ
我が長崎を応援する…。
故郷である長崎に、
みんながこんなにも
一丸となる対象ができることに
幸福感を抱く今日この頃です。

さて、今週11月24日(月)から
本日28日(金)までの
4泊5日の日程で、
【御館山地区通学合宿】
が行われています。
この通学合宿は、
御館山小学校区健全育成会、
地域の方々、
鎮西大学の先生・学生さんなど、
なんと！148名もの方々が
ボランティアで参加し、
子どもたちの
豊かな体験活動のために
協力してくださっています。
御館山地区には
1万人近くの方が
いらっしゃいますので
割合的には少ないかも知れませんが
老若男女…、
色々な立場の方が…、
子どもたちのために協力し、
子どもたちに熱い眼差しを
送ってくださっており、
正に【ALL御館山】での
サポートだと、
感謝の気持ちでいっぱいです。
子どもたちにも、
このような状況は決して
当たり前ではないことを知り、
我が故郷…、
我が町…、
我が母校…を愛し、
自分にできることに取り組める…。
そんな子が
一人でも多く育つよう
学校に出来ることは何か？
家庭で出来ることは何か？
一緒に考えてまいりましょう。

5年生特集！次期リーダーに向かって！

前号の『6年生特集』に続き、今号は **5年生の大特集** です。

6年生同様、高学年として、様々な行事に取り組みながら成長しているのが5年生です。

まずは、前号でもお伝えした『小体連壮行会』での活躍です。

小体連壮行会は、小体連を1週間後に控えた10月21日(火)に開催されました。

この会では、6年生の小体連での健闘を願って、全校で大きなエールを送るのですが、

その中心となって全校児童を引っ張ったのが5年生でした。

当日は、正に”腹の底から響いてくる”ような5年生の大声での掛け声が4年生以下を引っ張り、
全校での迫力満点のエールが体育館一杯に響き渡りました。

その中心となつたのが自主的に立候補した応援リーダーの8人(各クラス2人ずつ)です。

リーダーの皆さんに話を聞くと、この本番までには、

- | | | | | |
|---------------|---|------------------|---|------------|
| ①応援の構成や歌詞を考える | ⇒ | ②振り付けを考える | ⇒ | ③リーダーだけの練習 |
| ④動画にして全校に配付 | ⇒ | ⑤5年生全員との練習(3~4回) | | |

といった流れで、昼休みを中心に準備を進めたそうです。

実は、他の学年とは、1回も合わせたことがなく、本番での一発勝負だったそうです！

しかし、先にも書いたように、5年生の素晴らしいリードで、壮行会は大成功に終わりました。

小体連で、素晴らしい結果を残した6年生から、

「頑張れたのは5年生を初めとした全校の皆さんのおかげ」

と、感謝の言葉をもらつた5年生。

応援リーダーの一員である津田アレックス優樹さんは、

「『6年生に少しでも元気を与えることで、6年生が頑張れたらいいな』と思って立候補しました。

6年生が良い結果を出せたので、気持ちが届いてよかったです。」

坂本達海さんは、「初めは、恥ずかしさもあったけど、それを乗り越えて全力でできよかったです。」

山崎健さんは、「自分自身が声を出さないと、みんなを引っ張れないことが分かりました。」と、

それぞれに、手応えを口にしました。そして、3人は、

「6年生は、みんなを引っ張らなければならない場面がもっとたくさんある。」

「ここでの経験を生かして、みんなに尊敬される6年生になりたいです。」と、口を揃えました。

続いては、2学期で最も思い出深かったであろう『宿泊学習』が、

11月6日(木)・7日(金)の2日間、国立青少年自然の家で実施されました。

この宿泊学習の目標は、『自主・自立』。

「先生たちの手を借りず、できる限り自分たちの手で進めよう」という気持ちで準備を進めました。

宿泊学習の準備～本番の取組について、

各クラスの代表児童に話を伺いましたので、それを構成する形でご紹介します。

スタートは、宿泊学習に向けてのオリエンテーションでした。

このオリエンテーションでは、今回の目標である『自主・自立』について考えました。

色々な先生から話をしてもらい、「自分たちで働くとはどんなことだろう？」と考えました。

その後、本番終了までの活動単位となる生活班、活動班決めが行われました。

それぞれの班では、個々の目標をもとにした班目標を決め、

それを合わせる形でそれぞれの学級の目標も決めました。

目標決めも、先生方にはアドバイス程度にてもらい、出来るだけ自分たちで決めるようにしました。

栄作りでは、ファイルへ紙を差し込むなど、自分たちで出来ることに取り組みました。

そして、宿泊学習当日を迎えました。

オリエンテーリングは、かなり急な坂で転びそうなところもありましたが、

互いに支えたり、「大丈夫?」「水飲まなくていい?」などと声を助け合ったりしました。

ナイトウォークでは、迷子になりそうでしたが、ここでも互いに声を掛け合いました。

野外炊事は、野菜や肉を切る係、薪を組み火を付ける係など、

役割分担をして焼きそばを作りました。

焦げた班もあったけど、とても美味しく出来上がりました。

このように、5年生の口から聞かれる言葉からは、

「自分たちの手でやり遂げたんだ」という充実感が伝わってきました。

最後に話を聞かせてくれた4人(原田康希さん、永島瑞樹さん、原口茉夕さん、上村律輝さん)は今回の感想と、今後への抱負を、次のように語りました。

「僕たちは今回頑張った『自主・自立』を、6年生でも生かしていきたいです。(原田康希さん)」

「宿泊学習中には、自分勝手な行動をせず、やるべき事がきちんとできた。」

「これを生かして低学年になる6年生になりたい(永島瑞樹さん)」

「自分の役割を果たせるか心配だったけど、班の人たちがサポートしてくれて助かつたし。」

「予想より上手くできよかったです。これを生かして6年生に向けて頑張りたい。(原口茉夕さん)」

「自分たちで準備・計画をしてきました。協力することが大切だと実感しました。」

「これを生かして頼られる6年生になりたいです。(上村律輝さん)」

来年の御館山小学校を力強く引っ張るであろう、次期リーダー5年生の活躍が楽しみです。